平成25年11月13日発行

第218号

地球通信

学校法人　国際ことば学院

国際ことば学院日本語学校

〒422-8076 静岡市駿河区八幡3丁目2-28
TEL 054-284-8383 / FAX 054-284-8338
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.kotoba.ac.jp/ ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ info@kotoba.ac.jp

10 月 13 日に、静岡市民文化会館中ホールにて、文化祭が行われました。本校の文化祭も今年で10回目となりました。学院長の話にもあったように、今年度は多国籍料理の試食会をカットして、やや規模が縮小されるのではないかと考えておりましたが、学生達の自国の文化を多くの人に見てもらいたいという熱い情熱が全くそれを感じさせず、例年に劣らぬ素晴らしい文化祭になりました。

今年度は、ことば学院名物の『世界お国自慢』と『留学生のど自慢大会』のほかに、オープニングは初の試みとして D1 クラスのアグンさんをボーカルにバンド演奏が披露されました。そして、一年生出し物では、O クラスによる授業デモンストレーション、J クラス、M クラスによる朗読、また新企画『俺のステージ』では、毎週月曜日に本校で開講されているハウスダンスクラブ教室のインストラクターの方によるハウスダンス、B クラスによる自作ビデオなど、非常に多岐にわたるパフォーマンスが披露されました。

特に『俺のステージ』でよさこいを踊った C クラスは、2か月近くに及び練習を重ね、様々な国籍の人たちが一致団結し、息のぴったり合った踊りを披露し、その一人一人の活き活きとした表情は、見ていて非常に清々しく感じられました。また、L･K クラスのアテレコによる舞台、『羽衣の松』と『真説浦島太郎』では、練習時間が非常に限られていたにもかかわらず、本番では非常に素晴らしい演技をしてくれました。いらっしゃっていただいたお客様の中からは、この演目が一番良かったという声も多く聞かれました。

お国自慢も、例年同様非常にレベルが高く、ミャンマーの水祭りをモチーフにした踊りに始まり、インドは EXILE を組み込んだリミックスの曲に乗りダンスを、ネパールはプロ顔負けのブレイクダンス、ベトナムは農村の風景と伝統的な結婚式をモチーフにした踊り、そして、インドネシアは独特な雰囲気を持ったバリ島の舞踏劇『ケチャ』を披露してくれました。その国、あるいは地域の歴史やバックグラウンドが感じられる粒ぞろいの演目でした。

ロビーでは、今年度も各クラスの学習成果発表として作文などの掲示物や、学生たちによる生け花、絵画など、中ホール開演前に、多くのお客様にご覧いただき、非常に盛況でした。今年の文化祭は例年の演目に加え、バンドや絵画など、非常に学生たちの隠れた才能が光った文化祭になりました。

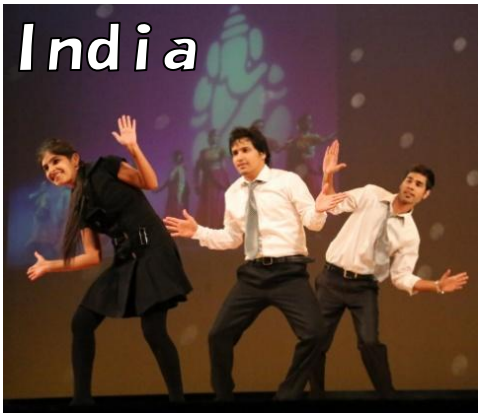
（佐藤）

秋の文化祭　総特集

お国自慢に出場した各国代表の学生に感想をお願いしました。

＜世界！お国自慢大会＞

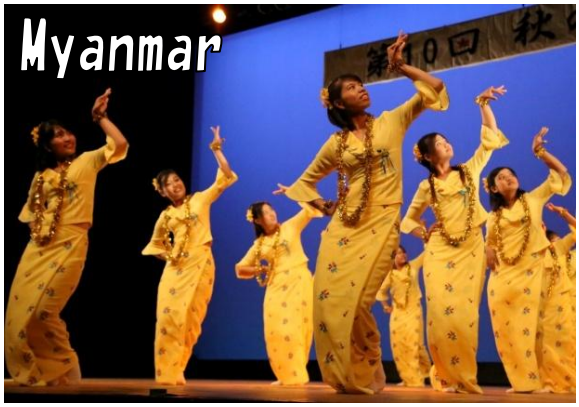
インドのおもしろいダンス



私達は今年の文化際でインドのだいひょうとしてさんかしました。れんしゅうする時間は少くなかったけど私たち3人はいっしょうけんめいがんばりました。みんなからも「いいおどりをしましたね」と言われてとてもうれしかったです。来年はもっとがんばりたいとおもいます。ありがとうございました。

SHROTRIYA MADHUKAR

水まつりの踊り



今回の文化祭で私にとって忘れられないことがたくさんありました。私のグループは12人参加しました。10人は踊って2人は司会をしました。一週間に2回練習をしました。1ヵ月前から文化祭の日まで自宅で練習をしました。皆が集まって練習をすることは難しいけれど皆頑張りました。最後に疲れたことはなくなって楽しかったです。お国自慢の練習のために学校にはお世話になりました。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

THI THI SWE

THUONG QUA VIETNAM

今年の文化祭は、昨年より楽しかったです。なぜからというと、今年は先生たちも参加したからです。これはいいことだと思います。文化祭によってみながもっと親しくなります。そして、他の国の文化が知れます。私はベトナム人として国自慢のためにお友達と一緒に毎晩練習をしました。とても疲れましたが、実際にステージで踊ったときはそれほど疲れはありませんでした。代わりにみんな誰でもどの国でも成功する感じがありました。

私は学校の文化祭がとても好きです。

HONG BICH QUAN

KECAK

BANMA FULYO FUL

私にとって、これは初めて参加する文化祭でした。本当に楽しかった。歳の浦島太郎では子供の役になり、インドネシアのケチャの踊りではハヌマン白いサルの役できんちょうしました。「どうするかなあ」と心配になりました。先生たちや学生みんなががんばったおかげで国際ことば学院第10回秋の文化祭は成功しました。お疲れ様でした。

GATOT WIRATAMA

HELLO, NAMASTEY 日本!! 今年の文化際では、ユニークなネパールの踊りバンマフリョフルを踊りました。その時大変なこともあります。バンマフリョフルとは「森に咲く花」という意味で、私たちは、このネパールの伝統的なダンスと現代のHIP HOPをミックスして新しいダンスの流れを作ったのでとても大変でした。また練習する時間や場所も合わなくて大変でした。

いずれにしてもユニークな踊りを踊りたいという気持ちの方が強かったので楽しくやることができました。HEHEHE!!!

♥♥♥ありがとうございました♥♥♥

SHRESTHA SUNDAR

<外国人のど自慢大会>

~FINAL~

予選を勝ち抜いた計５組のチーム。
各チームとも素敵な歌声を届けました。

＜1年生学習成果発表＞

Ｏクラス　「授業第３課２日目」

Ｊクラス　「昔話」

Ｍクラス「富士山」

K&Lクラス　「新説羽衣伝説＋浦島太郎」

＜展示部門＞

NEXT STAGE
―卒業後の進路に向けて―

本学院の学生の 9 割は日本語学校卒業後、専門学校や大学･大学院に進学しています。その進学準備が本格化してきました。11 月 10(日)は大学受験に必要な日本留学試験そして 12 月 1 日(日)は日本語能力試験が控えています。2 年生にとっては今年最後のチャンスです。そして、徐々に入学試験も始まり、入学願書の準備や試験勉強、面接練習など学生たちは気が抜けない忙しい日々を送っています。今後の進路を決める大事な時期、そして将来の事を真剣に考える時期と次のステージに向けての一歩を踏み出している最中です。そんな中今回は、卒業後の進路や進学準備について 3 名の学生にインタビューをしました。

＜QUESTION＞

① 卒業後の進路について教えて下さい。 ②オープンキャンパスや学校説明会に参加したことがありますか？

③ 入試の準備で大変なことは何ですか？ ④受験への意気込みをどうぞ。

① 京都にある美術の大学に進学したいです。大学卒業後は、まだ未定ですが就職をするか、他の国の大学へ進学してもっとイラストの勉強をしようとも考えています。

② はい、参加しました。大学のキャンパスを周ったり、試験や学費について質問しました。また自分の書いた絵(ポートフォリオ)を見せて先生から意見をもらいました。

③ 書類の準備はOKです。試験勉強がとても大変です。試験は 4 時間以内にテーマに合う絵を描き、その絵について論文を書きます。テーマは試験当日に発表されるので今はそのために毎日練習しています。

④ 絶対合格！！進学したい大学には、元漫画家の先生から授業を教わり、私の尊敬している先生がこの大学にいるので。私には不合格というオプションはありません。

シャンリ（インドネシア）

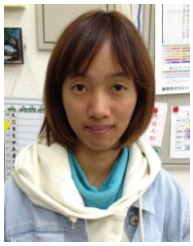
① 自動車整備の勉強ができる専門学校を受験する予定です。専門学校卒業後は、短期大学に進学して、日本の大手自動車企業に就職したいです。

② はい、参加しました。学校の説明を聞いて、その後フェラーリに乗りながら車の構造について話を聞いたり、実際に車を整備している場所を周ったりと大学を案内してもらいました。

③ いろいろと考えて生活環境が慣れている静岡の専門学校を受験することに決めました。入学試験が間近に迫っているので受験勉強に必死です。試験は数学と日本語です。

④ 絶対合格！！頑張るしかない。

ナムフォン（タイ）



① WEB デザインの専門学校に進学したいです。専門学校卒業後は、Web デザイナーとしてミャンマーで働きたいです。それか日本社会を知るために WEB デザイナーとして日本で就職することも視野に入れています。

② はい。2つのコースの体験授業ができると聞いて両方とも参加しました。実際にパソコンを使ってアニメーションの基礎を学んだり、鉄を加工してインテリアを作る体験授業で楽しかったです。

③ 願書などの準備はそんなに大変ではありませんでしたが、試験には面接があるので心配でした。初めて面接練習をした時はうまくできなかったので、家で鏡の前で何回も練習しました。

④ 私は、入学試験はすでに終わりました。入験が終わって一安心はしていますが、絶対にこの専門学校に進学したいので合否が分かるまでは安心できません。

ミンミンサン（ミャンマー）

交通安全教室

10 月 24 日(木)に一年生 7 月生･10 月生を対象に交通安全教室が行われました。学生たちはまず日本に来ると必ず自転車を買います。それに伴い、入学してすぐに交通安全教室が行われます。まずは、学校のホールで映像を見ながら交通ルールの確認と自転車安全利用五則について勉強しました。母国では良しとされている乗り方でも日本では禁止されている事もあり、交通ルールの違いについても学べる機会になりました。その後は実際に自転車に乗りながら学校の周りを一周して、一時停止の箇所や、見通しの悪い曲がり角はスピードを落とし左右の確認をしてから渡るなど交通指導員さんに指導して頂きました。

2013 年度に入りことば学院の学生が起こした自転車･バイクの事故は 12 件です。学生たちにとって自転車は日本で生活する上で欠かせない交通手段。自分の身は自分で守るために、そして交通事故を未然に防ぐためにも交通ルールをしっかり守り、安全運転で自転車に乗るよう心掛けてもらいたいです。(長島)

10月生入学式

11 月 9 日(土)、国際ことば学院日本語学校で 10 月生入学式が行われました。10 月生 33 名、7 月生 3 名、合計 36 名の学生が出席しました。それぞれの国の衣装を着て、緊張した表情をしていました。入学式では、学生の自己紹介もあり、緊張しながらもお客様の前でしっかりと話すことができました。学生の中には、「日本の大学へ行きたい」「将来、日本で仕事したい」など、自分の夢を話してくれた学生もいました。在校生の挨拶では、E クラスのタオ　ユェンさんが「勉強は、毎日の積み重ねが大切だ」と話してくれました。新入生は、自分も先輩のように話せるように、毎日勉強をがんばろうと感じたようです。懇親会では、保証人やフレンドシップの方達やクラスメートと話したり、写真を撮ったりしながら、楽しそうに食事をしていました。これから、どんな生活になるのか楽しみです。(中川)

ご寄付ありがとうございました。

菅ヶ谷様	布団・食器
羽鳥様	布団・冷蔵庫
榎本様	自転車
斉藤様	布団
篠原印刷所様	ノート

学生たちの生活のために使用いたします。

＜編集後記＞

最低気温が 10 度を下回る、冬を思わせるような突然の寒さで学生たちもびっくりしている様子です。一年生は初めて超す冬。冬支度をして体調管理には気をつけましょう。今年最後の地球通信となりました。少し早いですが、皆様よいお年を。(長島)